岩盤ボーリング柱状図

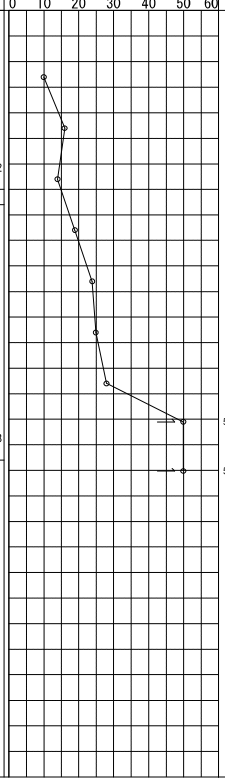
調査名	その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14' 14.8617"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和6年10月22日～ 令和6年10月23日	東経	132° 34' 19.9927"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 107.11m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：シブヤ TSA-165 / エンジン：ホンダ EU26ij / ポンプ：丸山 MS157

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	106.11	1.00		砂	暗褐～褐							0[0](100)	GL-0.4m付近まで有機質である。	
2				花崗岩	茶褐	w4	h1	E	VI	d	D	0[0](100)	GL-1.00～8.00m付近、強風化しており軟質化している。 マサ土化している。	
3												0[0](100)		
4												0[0](100)		10/22 3.50
5												0[0](100)		
6												0[0](100)		
7												0[0](100)	GL-8.00～GL-9.00m付近、やや硬質となる。	
8												0[0](100)	GL-8.80～GL-9.00m付近、水脈の貫入が認められる。 GL-8.00～GL-9.00m付近において変質しており原岩組織はやや不明瞭。	
9							h2	D	V		D	0[0](100)		10/23 8.80
10	97.11	10.00			灰～明灰	w3	h1	C	IV / III	c	CL	0[0](100)	GL-9.50m以深、短柱状コアが主体となる。 岩片は硬質であるが細かく砕かれている。	
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15 / 1.45	10 / 300		
16	2.15 / 2.45	16 / 300		
14	3.15 / 3.45	14 / 300		
19	4.15 / 4.45	19 / 300		
24	5.15 / 5.45	24 / 300		
25	6.15 / 6.45	25 / 300		
28	7.15 / 7.45	28 / 300		
50以上	8.00 / 8.10	50 / 100	100	
50以上	9.03 / 9.03	50 / 30	30	

原位置試験	室内試験	削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		10/22	80	66	SW/MC	1	600	1	W2 9	3
			115					1	W2 10	5
		10/23	100		HW/D-1	2	600	1	W2 5	2